第43号
2022年11月

共に生きる あどがわ

いつも あなたのそばに

●発行者 安曇川民生委員児童委員協議会 ●連絡先 安曇川事務局 TEL 32-1131

3年間の任期を終えるにあたり

会長 寺井 要

四期目の活動となりましたが、コロナの蔓延により訪問・研修・会議等全てが影響を受け、地域の皆様にも迷惑をかけました。課題としてコロナと上手に付き合う活動方法の確立を深く感じました。

障がい者福祉部会長 中野 正

訪問研修、交流支援ともに断念しましたが、数回の講習会等で学んだ事を、見守り活動に活かします。

企画委員長 島本 忠男

コロナに翻弄された三年間。事業を実施できないまま、任期を終えなければならないことは残念なことです。

現在の委員は11月末で任期満了
12月新たな委員が選任されます

高齢者福祉部会長 清水 喜久男

今までとは違う研修のあり方を探る三年間でした。そんな中でも体験出来た事が、今後の人生に生かされますように。

児童福祉部会長 渕田 京子

コロナ禍で制約はありましたが、学童に手作り竹馬、竹ぽっくり届けて、子供たちの笑顔に癒されました。

主任児童委員 梅村 頼子 駒井 雅子

赤ちゃんお元気ですか。赤ちゃん訪問を始めて6年、にこやかなお母さんの笑顔を見てほっとしています。健やかな成長を祈ります。

高齢者福祉・障がい者福祉・合同部会車いす体験

買い物の邪魔をしているようで申し訳ない気持ちで視線が気になります。

援助者が見えないため心細いです。行動が予測できるような声掛けが必要です。

自転車と同じようなタイヤですが、かなり振動が伝わります。思ったより信号が早く変わり焦ります。

商品棚が高く、冷凍食品も手が届きにくさを感じましたが、店員さんの気づかいはありがたいです。

車椅子を配慮して設計されており多目的トイレもあります。

図書館、道の駅、平和堂に於いて、車いすの利用体験を行いました。

　昨年は、車いすの取扱い方法を研修しましたが、その経験を基に、実際交代で乗ってみて、押してみて検証を行ないました。

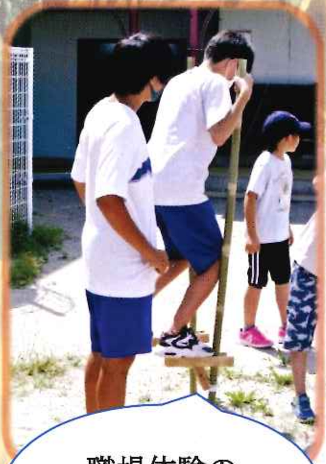
　当研修で、気になった内容は、施設側にも伝え、実際車いすを利用される方が、少しでも各施設を快適に利用できる様、改善していただけると、今回の研修が更に意義深いものとなります。

　多様な方々が、不安や不便を感じない、住み易い社会の実現に、民生委員・児童委員も微力ではありますが、お手伝いをさせていただいています。

陳列棚は低く買い物がしやすいです。店員さんの声掛けがあり気づかいを感じました。障がい者用トイレの出入り口はやや狭く感じました。

児童福祉部会・竹馬・竹ぽっくり作り

まさか民生委員になって竹馬を作ることになるとは！工務店と間違うほど立派な工房を持つ委員がおられたり、工具の扱いが職人顔負けの方がいたり、今どきの民生委員・児童委員は多才です。学童の子ども達の喜ぶ姿が楽しみです。



教え方が上手なのか、竹馬の出来が良いのか？直に乗れる子続出

職場体験の中学生も挑戦

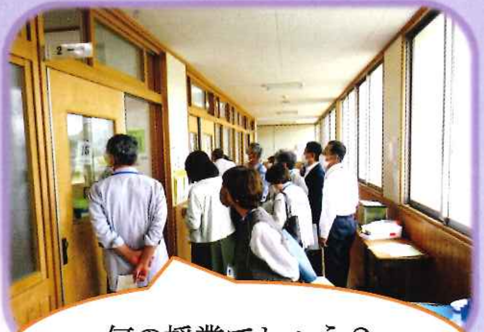
児童福祉部会は、地域３か所の学童保育に、竹馬と竹ぽっくりを贈るための作成作業を行いました。竹藪を持っておられる委員からは、竹と立派な工房を、また、足を乗せる台は、工務店経営の委員から提供を受けました。

材料の加工は委員が協力し、組み立ては工房主の委員が作成し、強度もしっかり確認しました。贈呈の日は、熱中症アラートが発令される酷暑日でしたが、短時間であれば屋外でもＯＫの許可をいただき、早速交代で楽しむ姿がありました。昔取った杵柄と挑戦する委員の姿もありましたが、結果はご想像にお任せします。

本日の学童は竹馬塾です

学校懇談会

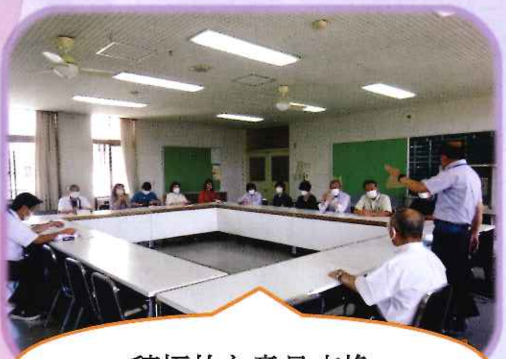
学校長からの
状況報告です



何の授業でしょう？
民生委員も興味津々

切り絵
根気のいる作業
素晴らしい

英語の歌に合わせ
身体の部位に
触れて行きます



積極的な意見交換

小学校三校、中学校一校を訪問し、授業等の参観や教職員との懇談を行いました。担当地域の先生と直接、情報や意見交換を行った学校もあり、認識を新たにすることができました。

回覧される学校だよりからも、学校や児童の様子は何となくわかりますが、各学校のホームページも充実していますので是非ご覧ください。

編集後記

３８号から今回の４３号まで６名の委員が広報を担当させていただきました。

『誰のため・何のため』を念頭に置き、多くの配布物がある中、まず手に取って最後まで目を通していただくには、見やすさ、分かりやすさを重視し、掲載内容も活動報告より情報提供を中心にしました。

邪道だったかもわかりませんが、民生委員の悩みや葛藤を取り上げたこともありました。コロナ禍で対面での編集会議ができず、ＬＩＮＥグループでの熱い議論が何日も続いたことも良き思い出です。

素人集団故、満足していただけるものは提供できませんでしたが、三年間一読していただきありがとうございました。

広報委員長　　下坂　惠子

人として成長出来た三年間
たくさんの一期一会に感謝